

ごあいさつ



所長・司法書士
清水敏博

こんにちは！ 司法書士の清水です。
春の陽ざしがやわらかく、草花が色づく季節になりました。
皆さまいかがお過ごしでしょうか。

私たちは日々のご相談に向き合う一方で、開業当初から「地域の未来づくり」も大切にしてきました。地域で地道に活動されている方々の橋渡しをしたり、コミュニティの場をつくったりと、小さなご縁をつなぐ取り組みを続けています。

また最近では、これからの地域や土業の世界を担う若い世代に、これまでの経験や失敗談も含めた知恵を少しずつ手渡ししながら、先達としてそっと背中を押すことも私たちの役目だと感じています。

そして今年度から、そうした想いや活動をもっと身近に感じていただけるよう情報発信に力をいれたいと思っています。「未来情報編集室」というホームページの開設に向けて、動き始めました。秋のニュースレターでは、詳細をお伝えできる見込みです。

本号の内容

- 1 ごあいさつ
- 2 あいおい日和
- 3 教えてあいおいくん
- 4 地域活動のご紹介
- 5 つれづれよこはま
- 6 日々雑感



地域でがんばる人やイベント情報をお届けし、「このまち、いいね!」と感じていただけるきっかけになれば嬉しいです。

ニュースレターは暮らしに役立つ情報とともに、私たちの横顔や地域の話をお届けしております。身近な存在として、気軽に思い出していただけるような発信を続けていければと思っています。



あいおい日和

2018年から受付担当の熱帯魚たち。近況をお伝えします。



ブルースポットダムセル



ヒトデ

どう見ても、ヒトっぽい新メンバー登場?!

前回お知らせしたカクレクマノミ(二モ)の産卵後、水槽は一時、ちょっとした“緊張状態”に。縄張り意識が強まり、新入りに対する洗礼があまりにも厳しく、何匹かが水槽を離れることになってしまいました。そこでペアを小柄な二モに入れ替えたところ、雰囲気が一変。今では他の魚たちとも穏やかに過ごし、平和が戻っています。

そんな中、新たに仲間入りしたのが、鮮やかな青地にワンポイントと黄色のコントラストが印象的なブルースポットダムセル(二代目アオと読んでいます)とヒトデ。特にこのヒトデ氏、どう見ても“ヒトっぽい”のです。大の字で寝そべっていたり、「考える人」のようなポーズをとっていたり、その姿はまるで人間そのもの。さらに、触手をウネウネと動かし、忍者さながらにガラスに張り付いているかと思えば、気づくと別の場所へ移動している意外な俊敏さも。絶妙なバランスで岩に乗っている姿を見ると、思わず「そこで落ち着くの?」と声をかけたくくなります。

水槽の中の小さな世界。個性や関係性が垣間見え、日々ちょっとしたドラマが生まれています。今日もこの世界では、それぞれの時間がゆっくりと流れています。

ご来所された際にぜひ覗いてみてくださいね! ちょっとした癒しになるかもしれません。